

令和4年度 事業報告書

特定非営利活動法人 WRO Japan

1 事業の成果

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルスの影響は少なからずあったものの、対応策を講じたうえでコロナ前の生活に戻そうという動きとともに、コロナを経験したことで新しい活動の構築が進められた年であった。WRO Japanでは、3年ぶりにWRO Japan決勝大会をリアルで開催することができ、やはり3年ぶりのリアル開催となったドイツ国際大会に参加することができた。他方、第15回目の開催となった教育シンポジウムは、その利点を活かしたオンライン開催とし、結果、全国はもとより中国・北京からの参加もあった。

WRO Japan 決勝大会は、静岡県浜松市で開催され、ROBO MISSION 競技では全国37の公認予選会から選抜された140チーム、FUTURE INNOVATORS 競技では事前審査から選ばれた9チームが参加し、熱戦の末、11チームがWRO 2023 ドイツ国際大会に出場する権利を得た。

本年度は、幸いにも一般社団法人東京倶楽部の文化活動助成金の交付を受けることができ、浜松でのWRO Japan 決勝大会で国際大会出場チームとして選ばれた11チームを対象とした2泊3日の「チーム強化合宿」を開催することができた。今回の合宿の特徴として、過去のWRO国際大会参加経験者WRO OBOG 5名が中心になって合宿の運営を進めたことがあげられる。合宿を通じて、技術力の強化のみならず、選手およびコーチが「日本代表」として結束を固めたことで、国際大会参加へのモチベーションアップ、さらには後述する国際大会での優秀な成績につながった。

ドイツ・ドルトムントで開催されたWRO 2023 ドイツ国際大会には、合宿に参加した11チームの他に別途Japan 決勝大会が開催されたROBO SPORTS 競技、FUTURE ENGINEERS 競技において国際大会出場権利を得たチームを加え、計13チームが出場した。大会には世界73の国と地域から365チームが集結し、日本チームは大健闘の結果、FUTURE INNOVATORS ジュニア部門での金メダルという快挙のほか、計5チームが入賞という素晴らしい成績をおさめることができた。

教育シンポジウムは、[] を基調講演講師としてお迎えして講演をしていただいたほか、ロボットを活用したプログラミング教育に関する10件の事例発表があり、約30名がオンラインで聴講した。基調講演や事例発表後には、活発な質疑応答がおこなわれた。

普及啓発事業では、新規の取り組みとして、前述の東京都狛江市立狛江第三小学校の特別支援学級にて、毎月2コマのプログラミング授業をおこなった（令和4年度については令和5年3月が最終授業の予定）。普通級で授業をうけることが難しい子たちに向けた取り組みであるが、与えられた課題に向き合う集中力は素晴らしく、この授業をきっかけに少しずつ普通級の子もたちと交流ができるようになったという変化も見られた。新年度も、学校側と調整しながら授業を継続するとともに、その授業内容を紹介できるようなコンテンツ作りも進めていきたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 9,623 】千円)

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
教育推進	教育的ロボット競技コンテストの開催(WROJapan ROBO SPORTS 大会)	7月17-18日 7月23-24日	大阪及び 東京	20名	ロボット製作、競技に関心のある子ども、指導者約100名	1,629
	教育的ロボット競技コンテストの開催(WRO Japan FUTURE ENGINEERS 大会)	8月21日	大阪	5名	ロボット製作、競技に関心のある大学生、専門学校生他、指導者約20名	356
	教育的ロボット競技コンテストの開催 (WRO Japan 決勝大会)	8月28日	静岡	500名	ロボット製作、競技に関心のある小中高生および教員・指導者約500名	1,213
	国際大会参加チームを対象としたチーム強化合宿の開催	10月8-10日	静岡	10名	ロボット製作、競技に関心のある子ども、および教員・指導者約30名	1,724
	WRO 国際大会参加	11月17-19日	ドイツ	5名	ロボット製作、競技に関心のある子ども、指導者等約100名	3,999
	国内教育シンポジウムの開催(オンライン開催)	12月11日	オンライン	3名	ロボット教育に携わる小中高教員、教育学研究者、および地域活動従事者 約30名	38
	普及啓発	公立小学校特別支援学級、及び普通級でのプログラミング授業	5月-令和5年 3月(予定)	東京都	2名	特別支援学級児童6名、5年生児童約100名、及び教員、指導者約20名
公式サイト運営、新概要パンフレット配布		随時		5名	不特定多数	392

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 0 】千円)

令和4年度 活動計算書 (その他事業がない場合)

特定非営利活動法人 WRO Japan

(単位:円)

科 目		金額	小計・合計
(A) 経常収益			
1	受取会費 正会員受取会費 賛助会員受取会費	2,600,000 0	2,600,000
2	受取寄附金 受取寄附金 施設等受入評価益	2,215 0	2,215
3	受取助成金等 受取助成金	2,000,000	2,000,000
4	事業収益 教育事業収益	16,579,735	16,579,735
5	その他の収益 受取利息	0	0
経常収益計			21,181,950
(B) 経常費用			
1	事業費 (1) 人件費 給料手当 役員報酬 退職給付費用 福利厚生費	0 0 0 0	0
	(2) その他経費 会費 旅費交通費 支払報酬・謝金 広告宣伝費 印刷製本費 通信運搬費 保険料 会場設営費 消耗品 賃借料 雑費 業務委託費 国際大会参加登録費 国際メンバーシップ費 支払手数料	60,464 5,112,931 155,000 216,700 20,870 394,562 0 118,000 1,009,433 487,907 81,000 551,250 1,015,151 340,002 59,980	9,623,250
事業費計			9,623,250
2	管理費 (1) 人件費 役員報酬 給料手当 退職給付費用 福利厚生費	100,000 0 0 0	100,000
	(2) その他経費 消耗品費 印刷費 水道光熱費 通信運搬費 地代家賃 旅費交通費 減価償却費 法定福利費 磨用費 租税公課 寄付金 業務委託費 税理士顧問料 雑費 支払手数料	8,561 7,570 0 18,906 431,392 60,330 38,220 0 9,020 818,600 100,000 3,330,000 151,140 0 45,700	5,019,439
管理費計			5,119,439
経常費用計			14,742,689
当期経常増減額 (A) - (B) ... ①			6,439,261
(C) 経常外収益			
	固定資産売却益 過年度損益修正益 利息収入 為替差益 雑収入	74 5,222 0	5,296
経常外収益計			5,296
(D) 経常外費用			
	固定資産売却損 災害損失 過年度損益修正損 支払利息	0 0 0 26,320	26,320
経常外費用計			26,320
当期経常外増減額 (C) - (D) ... ②			-21,024
税引前当期正味財産増減額 (①)+② ... ③			6,418,237
法人税、住民税及び事業税 ... ④			
前期繰越正味財産額 ... ⑤			
次期繰越正味財産額 (③)-(④)+(⑤)			6,418,237

令和4年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 WRO Japan

(単位:円)

科 目	金 額	小計・合計
【A】 資 産 の 部		
1 流動資産		
現金預金	8,787,436	
未収金	121,930	
棚卸資産	0	
前払費用	185,000	
流動資産合計・・・①		9,094,366
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬具	0	
什器備品	45,170	45,170
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア	0	
借地権	0	0
(3) 投資その他の資産		
敷金	0	
長期貸付金	0	0
固定資産合計・・・②		45,170
【A】 資 産 合 計 ①+②		9,139,536
【B-1】 負 債 の 部		
1 流動負債		
未払金	3,123,189	
預り金	0	
前受金	500,000	
前受会費	20,000	
未払消費税	468,300	
流動負債合計・・・③		4,111,489
2 固定負債		
長期借入金	7,820,000	
退職給付引当金	0	
固定負債合計・・・④		7,820,000
負債合計 ③+④		11,931,489
【B-2】 正 味 財 産 の 部		
前期繰越正味財産額		-9210190
当期正味財産増減額		6418237
正味財産合計		-2,791,953
【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】 + 【B-2】		9,139,536

令和4年度 特定非営利活動に係る事業 財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却しています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位：円)

科 目	特定非営利活動に係る事業				事業費計
	教育推進事業費			普及啓発事業費	
	国内大会	国際（含：合宿）	シンポジウム		
(1) 人件費	0	0	0	0	0
人 件 費 計	0	0	0	0	0
(2) その他経費					
会議費	60,464	0	0	0	60,464
旅費交通費	1,346,474	3,757,937	0	8,520	5,112,931
通信運搬費	329,462	18,810	990	45,300	394,562
賃借料(会場借料, 機材借料)	332,157	155,750	0	0	487,907
支払報酬	5,000	150,000	0	0	155,000
支払手数料	19,630	38,390	270	1,690	59,980
消耗品費	782,156	227,277	0	0	1,009,433
業務委託料	114,000	19,800	33,000	384,450	551,250
雑費	81,000	0	0	0	81,000
印刷製本費	10,000	0	3,620	7,250	20,870
参加費支払い	0	1,015,151	0	0	1,015,151
保険料	0	0	0	0	0
MembershipFee(国際登録費)	0	340,002	0	216,700	556,702
設営費	118,000	0	0	0	118,000
その他諸経費	0	0	0	0	0
その他経費計	3,198,343	5,723,117	37,880	663,910	9,623,250
事業費計	3,198,343	5,723,117	37,880	663,910	9,623,250

3. 未払金の増減内訳

未払金の増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	内訳	期首残高	当期末払	当期支払	期末残高
未払金	株式会社アフレル	6,035,773	0	3,000,000	3,035,773
				合 計	3,035,773

4. 長期借入金の増減内訳

長期借入金の増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	内訳	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	政策金融公庫	8,000,000	0	180,000	7,820,000
				合 計	7,820,000

5. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	内訳	期首取得価額	期中増減額	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
器具備品	ノートパソコン	166,780	0	166,780	121,610	45,170
					合 計	45,170

令和4年度 財産目録

特定非営利活動法人 WRO Japan
(単位:円)

科	目	金額	小計	合計
(A) 資産の部				
1 流動資産				
現金預金				
手元現金		63,107		
みずほ銀行普通預金		8,684,264		
みずほ銀行外貨預金		243		
外貨現金		39,822	8,787,436	
未収金				
未収会費		10,000		
未収金		111,930		
前払費用		185,000	306,930	
流動資産合計・・・①				9,094,366
2 固定資産				
(1) 有形固定資産				
車両運搬具				
事業用車両		0	0	
什器備品				
パソコン		45,170	45,170	
(2) 無形固定資産				0
(3) 投資その他の資産				0
固定資産合計・・・②				45,170
【A】資産合計 ①+②				9,139,536
(B-1) 負債の部				
1 流動負債				
未払金				
長期借入金返済		87,416		
(株)アフレル		3,035,773	3,123,189	
預り金				
源泉徴収税		0		
前受会費		20,000		
前受金		500,000		
未払未払消費税		468,300	988,300	
流動負債合計・・・③				4,111,489
2 固定負債				
長期借入金				
政策金融公庫借入金		7,820,000	7,820,000	
固定負債合計・・・④				7,820,000
【B-1】負債合計 ③+④				11,931,489
【B-2】正味財産合計 【A】 - 【B-1】				-2,791,953

令和4年度年間役員名簿

(前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿)

特定非営利活動法人 WRO Japan

1 確認事項 (法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。)

 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。(法第20条関係) 各役員について、親族の規定に違反していません。(法第21条関係)

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名		
1	○理事・監事	カナイノリカネ	令和4年2月1日 ～ 令和4年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		金井徳兼		
2	○理事・監事	コバヤシヤスヒデ	令和4年2月1日 ～ 令和4年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		小林靖英		
3	○理事・監事	シマダトシカズ	令和4年2月1日 ～ 令和4年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		島田 敏一		
4	○理事・監事	ヨシノカズヨシ	令和4年2月1日 ～ 令和4年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		吉野和芳		
5	○理事・監事	カトウミチコ	令和4年2月1日 ～ 令和4年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		加藤 道子		

社員名簿 (社員のうち10人以上の者の名簿)

特定非営利活動法人 WRO Japan

	氏名	
1	金井 徳兼	
2	島田 敏一	
3	吉野 和芳	
4	羽賀 孝夫	
5	北野 順一	
6	横井 尚子	
7	山口 俊治	
8	小林 靖英	
9	羽根田 智子	
10	櫻澤 由里子	